

# ○技術提案書（概要版）

**探究的な学びを促す学校**  
学年ユニットや特別教室コモンズなど、探究的な学びを誘発する拠点を学校全体に配置

**2階校庭で子ども達の動線がコンパクトな学校**  
子ども達の生活の基盤を2階とし、上下の移動を抑え、活動しやすい計画。水害時にも安全に避難できる環境を整備

**地域コミュニティの核となる学校**  
1階にモールを中心に沿って開放諸室を配置し、子ども達と地域住民の日常的な交流を促す計画



**学校運営しながら、メンテナンスや改修工事を容易に行える計画**

小規模修繕や改修時の工事ヤードを確保  
・工事ヤードとして、地上レベルの正門広場とピロティ、車両用スロープを設けた2階校庭を活用できます。  
・正門広場には、レッカー車の寄り付きが可能です。

多目的・少人数教室を活用し玉突きで教室の改修が可能  
・改修対象室を多目的・少人数教室へ一時移転することで学校運営しながらの教室の改修工事が可能です。

**安心安全な防災拠点としての学校**

一時避難所となる校庭は、誰もが容易に避難できるよう、直通的な屋外階段とエレベーターを設けます。  
・地上レベルの広場とピロティ、1階内部のモールは、避難者が一時的にたまる空間として機能します。  
・各エレベーターや給水ポンプ、廊下の照明などは、停電時も稼働できるよう、非常用電源を確保します。

**安心してペットと避難が出来る計画**

ペット同室の避難所は1階の諸室とし、外部から直接出入りする計画とします。ペット同行避難者と、一般避難者の動線と避難所エリアを明確に区分することで、アレルギーや鳴き声、においなどに配慮します。

**外部からアクセスしやすい配置計画**

子ども達は東側の正門から、地域住民は正門、北門、西門の多方面からアクセスできる計画とします。  
・各門の前には一時待機スペースとなる広場やピロティを設け、登校時や災害時のたまりの空間として機能します。  
・宅盤高さを、現況の道路のレベルに合わせて下げること、各門からアプローチしやすい計画とします。

**セキュリティと動線に配慮した地域開放**

学校運営時、夜間・休日の2段階で開放エリアを区画し、管理しやすく地域に開かれた環境を整備します。

①学校運営時  
・1階の地域開放諸室は、主事室での受付後に利用する計画とし、主事室から見渡せる位置に配置します。

②夜間・休日時  
・校庭、アリーナ及び特別教室が開放できます。必要に応じて、普通教室エリアも開放が可能な計画とします。

**普通教室開放時のプライバシー保護**

・教室開放時には児童の作品や掲示物をロールスクリーンなどで隠し、個人情報の流出を防ぎます。  
・教室内の一部にロッカースペースを設け区画することで児童の荷物を守り、教職員の管理負担を軽減します。

**学びと探究が連動する創造的な学習空間**

2階から4階の普通教室廻りは、学びの拠点となる「学年ユニット」と探究の広場「特別教室コモンズ」を、「小さな交流空間」でつなぎ、創造的な学びと緩やかな交流を促進します。

**学びの拠点となる普通教室**

・80㎡のゆとりある教室を確保し、個別学習から協働的な学び合いまで、多様な活動を柔軟に受け止めます。  
・低、中高学年のそれぞれで設えを変えることで、成長段階に合わせた最適な学習環境を整備します。

**低学年 水場とワークスペース**  
校庭に直接行き来できる

**中・高学年 広々とした学習空間**  
グループ学習や発表等に幅広く対応

**多文化共生を身近に感じる学習空間**

・茶室と国際学級教室は、子ども達が日常的に使うラーニングセンターに連続して配置し、多文化共生が自然に受け入れられる環境を創ります。  
・地域住民も利用する1階に配置することで、学校だけでなく地域全体の国際理解を育む拠点となります。

**ウェルビーイングを高める多様な居場所**

・DENや小上がり空間、ソファなどの多様な家具を各所に配置し、子ども達や教職員が活動や気分に合わせて居場所を選択できる環境を整備します。  
・家具や内装材など見える仕上げに木材を使用し、みなとモデルを達成します。多様な材種を用い木の個性を学ぶことで豊かな感性を育む場とします。

**高コスト化抑制と入札不調対策**

・プールを1階に計画することでシンプルな構造となり、工期短縮とインシャルコスト削減を実現します。  
・設計段階から社会情勢を見据えてコストを管理し、施工者へのヒアリングを基に現実的で適正な工程を設定することで、入札不調対策を図ります。

**維持管理費削減の工夫**

・躯体の長寿命化や、設備の高効率化で施設運用時・更新時のコスト削減を図ります。

躯体の長寿命化	素材	高効率化
・コンクリート基準強度 30N/mm <sup>2</sup> 以上 ・クラック追従性のある弾性塗装によりコンクリートの劣化防止	・高耐久性、ノーマンテナンス材の選定	・照明のLED化、人感センサー ・庇の日射遮蔽による空調負荷の低減

**施工効率の向上による工期短縮**

・校庭棟の一部を後追い工事とし、作業ヤードを確保します。  
1階は階高が高いため工事車両の通行が可能で、施工効率の向上と工期短縮を実現させます。  
・鉄筋トラス付きデッキや鉄筋先組工法+機械式継手の採用により、工事を削減し工期短縮につなげます。

**みんなで夢を語る「東町小ミライ・プロジェクト」**

・新しい東町小学校をどのような学校にしたいか、関わる全ての人を創り手とする4つのプロジェクトを展開し、未来の東町小を考えます。  
新しい時代の学びを創造する土台づくり

・最新事例や文部科学省の指針などを共有し、全員でこれからの学びの共通理解を図ります。ファシリテーターとして経験豊富な設計者が、話しやすい雰囲気作りを行い未来の学校づくりへと対話を展開させます。